

比叡山時報

三国天台宗で平和を祈る
祈りの継続で祖国の統一願う

RMC世界平和財団



法要で共に平和を祈る

人類和合記念碑」前にて執り行われ、延暦寺長騰佐々木光澄大僧正導師のもと、約80名の参列者が共に平和を祈った。法要後の式典で、「RMC世界平和財団(心のひろば)」主宰、南北朝鮮半島板門店

世界の平和と朝鮮半島南北平和統一を祈願する第二十七回日中韓三国天台宗の法要が10月1日、午前11時より大講堂横の「三国天台宇宙共生・

経由開城靈通寺巡礼日本代表の武本俊氏は、いまだ緊張感続く南北間の状況について、「人間の原点に返って考えて欲しい」と願いを語り、その

上で「27年間比叡山から発信している我々の祈りは間違いなく北朝鮮で発掘された高麗天台の仏跡霊通寺へと届いている。必ず統一が実現される。祈り続けることが大切」と挨拶した。

続いて、在日本朝鮮人総聯合会姜世哲京都府本部委員長が、「我々の第一の悲願は祖国の統一。比叡山と心のひろばの皆さまの活動は我々に勇気と希望を与え続けてくれる。感謝と同時に必ず道は開かれると確信している」と述べた。

また法要では、煎茶道黄檗売茶流の家元中澤孝典氏による献茶式も営まれた。

